

と	行	る	ボ	つ		も	を	捉	『	本	本	ら		た	の	の	へ	支	
感	き	こ	ラ	目	私	変	動	え	何	書	に	人	何	。	い	貧	赴	援	私
じ	、	と	ン	。	に	え	か	る	を	は	帰	を	を		く	困	き	ボ	は
た	も	が	テ	『	も	る	し	か	す	教	り	笑	し		つ	問	、	ラ	中
。	っ	で	ィ	知	で	力	、	』	べ	え	、	顔	た		か	題	ス	ン	学
二	と	き	ア	る	き	を	地	に	き	て	そ	に	ら		の	に	テ	一	
つ	多	た	活	』	る	持	域	始	か	く	ん	で	貧		場	つ	ィ	年	
目	く	。	動	こ	多	つ	社	ま	で	れ	な	き	困		面	い	ア	生	
『	の	調	で	と	く	の	会	る	は	た	こ	の	が		と	て	と	の	
伝	こ	べ	、	。	の	だ	を	と	な	。	と	か	解		重	学	し	終	
え	と	る	貧	本	こ	と	変	。	く	『	ば	。	消		なり	ん	て	わ	
』	を	あ	困	書	と	』	え	そ	『	貧	か	フ	す		、	だ	フ	り	
こ	知	る	問	や	が		、	の	す	困	イ	イ	る		私	。	ィ	、	
と	る	い	題	フ	見		国	違	べ	解	リ	リ	の		の	足	リ	、	
。	こ	は	の	ィ	つ		家	い	き	消	ピ	ピ	か		体	を	ピ	N	
私	が	視	深	リ	か		や	が	こ	へ	ン	ン	。		験	運	ン	G	
が	必	察	刻	ピ	っ		地	人	と	の	か	カ	ど		が	び	の	O	
学	要	し	さ	ン	た		域	と	を	道	ら	し	う		本	、	セ	の	
ん	だ	に	を	で	。		さ	組	ど	は	日	た	し		書	世	ブ	海	
			知	の	一		え	織	う		に				界	島	外		

また、これからは海外支援ボランティアを	救い、心や生活の支えになりたい。	いきたい。そして、恵まれない子どもたちを	本の子どもに貧困問題や本書のこと伝えて	くてはいけないと思おう。教師になったら、日	れたからには、だれかの支えに、力にならな	れることが当たり前になっている日本に生ま	校の教師になるという夢である。明日を生	かされ、ある思いが強くなったり。それは、学	私は本書を読み、西水さんの言葉に心を動	たい。	し、手を差し伸べられるような人になっ	他人事ではなく私事として捉え、心から共	する深い共感である。悲しみ、苦しむ人々を	こと。リリーダシップの原点は、人々に対	変わった。それと思う。三つ目。『共感する』	いる。それをみんなで繋げていけば、世界は	に伝えることが必要だ。伝えれば、知る人が	から分かる感じだったことを、実際に視察し	だこと、知ったこと、実際に視察しに行
---------------------	------------------	----------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-----------------------	---------------------	-----	--------------------	---------------------	----------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	--------------------

																		う	く	を	て	通
																		。	さ	動	い	じ
																			ん	か	き	て
																			の	す	た	、
																			努	こ	い	多
																			力	と	。	く
																			と	の	西	の
																			経	で	水	人
																			験	き	さ	々
																			を	る	ん	の
																			積	人	の	気
																			み	間	よ	持
																			重	に	う	ち
																			ね	な	に	や
																			て	る	、	思
																			い	た	だ	い
																			こ	め	れ	に
																			う	に	か	共
																			と	、	の	感
																			思	た	心	し